

わたなべニュース

2018.11.10 vol.100

発行元：社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部
TEL：0798(74)2630 FAX：0798(74)7257
ホームページ：<http://n-watanabe-hosp.jp/>

11月1日は 『西宮渡辺病院』の 開院記念日です



11月1日は私共法人「社会医療法人渡邊高記念会」の開院記念日です。

法人名である故渡邊高が西宮市室川町に本院『西宮渡辺病院』を開院した記念日でもあります。

昭和40年に開設された私共法人は53年の歴史を無事過ごせたこととなります。

平成の終わりを迎える今年、私どもの歩みは、皆様のご支援とご協力の上に成り立っていることに想いを馳せる日々を過ごしています。

安心して過ごせる地域社会の要となる私どものあり方には皆様のご協力の元、皆様の健康と安全を第一に考える私どもであることが求められています。

社会医療法人渡邊高記念会
西宮渡辺病院 理事長 佐々木恭子



加速度的に進む少子高齢化は私共の日々の暮らしに様々な歪と不安を生み出し、多くの方が自身の老後に、或いは家族の介護に、不安な未来を感じていらっしゃる事と思います。

今私共に求められている事は医療と介護を通して地域の助け合いの要となることであり、皆様が安心して暮らせる地域づくりに貢献することであると思います。

医療と介護は市民である私ども一人一人の助け合いと思いやりの精神の上であり、世界に誇るべき国民皆保険制度とともに成り立っています。

私どもの設立母体である医療法人というものもまた、公的資金や税金を使うことなく、民間の力で公益性の高い病院医療を行う世界に類を見ない相互扶助組織の一つです。

『社会医療法人』である私共は一般医療法人よりもなおのこと地域コミュニティの要となり、地域医療に貢献する使命があるのだと思います。

限りある医療と介護の資源の中で私共は可能な限り皆様のお役に立つ医療と介護に邁進する事を決意しています。私どもはこれからも医療、介護を通して地域社会の絆を作る推進力になりたいと考えているのです。



西宮渡辺病院開院記念を迎えて

社会医療法人渡邊高記念会
西宮渡辺病院 院長 佐々木健陽



西宮渡辺病院は、創立53年を迎えることができました。

敬天愛人の理念のもと、どのような医療を提供できれば、

皆様にこたえられるかを常に心がけてきました。まだまだ至りませんが、この年を迎えられたのは、ひとえに皆様のおかげと思っています。どうもありがとうございます。

さて、本年4月は、西宮渡辺心臓脳・血管センターの名称変更、前浜福祉の郷に西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院を開設することができました。本院とともに、地域の皆様に安心と安全な医療を継続的に提供できるよう、これからも一歩ずつ進んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

新任医師紹介



西宮渡辺病院／西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 皮膚科 内村友佳 先生

患者さん一人ひとりの立場に立ち、一緒に最適な治療を選んでいく様に心がけております。
お気軽にご相談ください。



西宮渡辺病院 整形外科 柳井亮介 先生

様々な関節や筋肉の痛みについて悩まれている方がたくさんいらっしゃるかと思います。それぞれの痛みにあった適切なリハビリテーション、鎮痛剤の処方方を調節し、少しでも日常生活のできることを増やして、やりたいことをやれるようになって頂く力になりたいと思っております。一度気軽にご相談に来てください。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 心臓血管外科部長 中尾佳永 先生

大阪出身で、平成5年に関西医科大学を卒業後、慶應義塾大学、済生会中央病院、静岡赤十字病院、八尾徳洲会総合病院を経て、平成30年9月より西宮渡辺心臓脳・血管センターに勤務することになりました。大動脈疾患に興味を持ち、各病院で大動脈疾患になるべく関わるようにしてきました。

とくに静岡赤十字病院でステントグラフト治療を学び、その後八尾徳洲会総合病院でステントグラフト治療を積極的に取り組む様になりました。手術年齢が高齢化していることもあり、侵襲の少ない治療が求められることもあります。各科先生がたと連携し、地域の皆様にステントグラフトという低侵襲の治療を提供できるように努力したいと思います。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 循環器内科副部長 山根崇史 先生

循環器内科の山根と申します。平成16年に広島大学を卒業した後、神戸市立医療センター中央市民病院にて初期・後期研修を行い、循環器の基礎を学びました。その後国立循環器病研究センターにて5年間、循環器疾患の中でも最重症の方が入院するCCUに専従として勤務し、循環器集中治療を学んだ後、再度神戸市立医療センター中央市民病院に戻り、そして今回平成30年10月より西宮渡辺心臓脳・血管センターへ勤務することとなりました。

これまでの経験を生かし、急性期から慢性期まで含めた地域に密着した医療を実現できるよう尽力していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

福永先生が健康講座を行いました！

2018年10月13日（土）

「股関節・膝関節の痛みはなぜ起こる？」

「いつまでも元気に歩くためのリハビリテーションを含めた治療」

今回、西宮北口のなでしこホールにて股関節、膝関節に関する健康講座を開催しました。当日は快晴で参加者も約140名と非常に盛況でした。講演内容は、日本人の50歳以上特に65歳以上の方の多くが悩んでいる関節痛についてです。関節の中でも脊椎および下肢（股関節・膝関節・足関節）は荷重関節と言って歩行するときに体重を支え、歩行するために特に重要な関節です。近年、健康寿命と言って高齢者が自立して人生を楽しむ年齢が重要視されて来ており、その根幹になるのはやはり自分で歩けると言ったことです。統計によると介護保険の要支援・要介護になるものの約1/5（20%）が関節疾患でありそれらが健康寿命を短縮する可能性が指摘されています。今回、下肢の大関節である股関節および膝関節についてその疼痛出現の原因およびその症状がどのようなものであるかを示し、理学療法士による実演を含めたリハビリテーションの方法（筋力強化）の指導や内服治療がどのようなものであるかを説明し、最終的に行う可能性がある手術加療（特に人工関節置換術を中心）について治療開始の時期も含めて講演を行いました。

（西宮渡辺病院 人工関節センター 整形外科医長 福永健治）



健康塾営業拡大のお知らせ

健康塾（通所リハビリ含む）では、平日の混雑緩和及び新規利用者のニーズに合わせて、会員様へのサービス向上を図り、営業時間・曜日の拡大営業を下記のようにはじめました。新規ご入会・ご紹介・ご利用のほど、スタッフ一同、心よりお待ちしております。（健康塾 課長 石田仁）

■月～金曜日 9:00～19:00
（祝祭日のみ17:00まで）
■土・日曜日 9:00～12:30

問合せ先：0798-36-1166（健康塾直通）

西宮渡辺心臓脳・血管センター地域連携室 入退院支援センターを開設しました！



西宮渡辺心臓脳・血管センター地域連携室は平成30年8月6日より4階より1階南側（玄関入った右奥）に場所を移し、『地域連携室・入退院支援センター』として名称変更し、開設されました。メンバーは、現在室長（看護師）1名とMSW3名（9月中旬より1名増員）、事務職員1名の総勢5名で業務を担っています。

これまでは、①他院からの入院相談の窓口となり患者さんの受け入れ調整（前方支援）②病状安定後、回復期リハビリテーション病院をはじめとする転院調整や患者さんが住み慣れた地域へ安心して帰られるように関連機関との連携を図ってきました。

また、高齢化社会が進むなかで病院へ受診しに行くことが難しくなった患者さんに対し、西宮渡辺病院の医師・看護師が行う訪問診療の窓口となって活動し始めています。

今後は、1階窓口にて定期・緊急に関わらず多くの入院の患者さんが安心して入院生活がおくられるようにサービス向上に努めていきたいと考えております。（西宮渡辺心臓脳・血管センター地域連携室・入退院支援センター 室長 飾森薫）

西宮市総合防災訓練に参加しました。



11月5日は「世界津波の日」に制定されており、兵庫県内の15市町において避難訓練が行われました。この訓練は、南海トラフ地震の発生に備え、「市・関係機関・住民が連携し、災害対応力の強化を目指す」を目的として開催されました。

兵庫県のドクターヘリによる空中映像による情報収集や負傷者の広域搬送訓練などもあり、またドローンを使った空中映像は最近の情報収集技術の進歩を感じました。

社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院は「人命救助訓練」のパートで「西宮市消防協力隊」として参加し、救急救命士2名が法人保有の「高規格救急車」による救助者の搬送訓練を行いました。この訓練では、大規模災害が起こった際の関係各所の人員及び資機材不足を想定し、警察機関と協力をを行い、車内に閉じ込められた負傷者を救助、病院まで搬送するという内容でした。

訓練を終え、今回の目的である市・関係機関・住民間の連携の強化が図れ、より一層、更なる防災意識の向上が必要だと感じました。

（西宮渡辺心臓脳・血管センター 管理者 槌田昌平）



福祉の郷 「ハロウィンコンサート」



10月24日、毎年恒例となった「宮村音楽教室」の子供たちによるハロウィンコンサートをハートケア西宮わたなべ福祉の郷にて開催致しました。

思い思いの仮装をした子供たちの登場にご利用者の顔もほころびます。子供たちと一緒に秋の童謡を歌ったり音楽に合わせて体を動かしたりと楽しい時間を過ごすことが出来ました。最後に子供たちから、ひとりひとりに手渡して頂いたメッセージカードも大切な思い出になりました。

今後も季節の行事や地域との結びつきのあるイベントを計画したいと思います。



（ハートケア西宮わたなべ 登川健太）

すいすい健康講座 9月・10月開催報告



9月【開催場所：西宮渡辺病院】

9月の講座は健康塾課長 石田仁による『大人の学校体験版』でした。

おとなの学校メソッドとは、学校の授業スタイルを取り入れた全く新しい発想のアクティビティです。現在国内270施設以上で導入されており、テレビ、新聞、雑誌など各種マスコミにも取り上げられるなど、全国で注目を集めています。最大の目的は「利用者さまの意欲を引き出すこと」。授業中は自然と、感謝と賞賛の言葉に溢れています。授業を受け始めてから、とても活発になられる利用者さまも多数いらっしゃいます。教科書（テキスト）を使い、国語・算数・理科・社会・音楽・体育など、たくさんの教科があります。昔の事を思い出してもらって回想法などを活用し、例えば重い介護度や認知症の方であっても皆さまに楽しく授業にご参加いただくことができます。このアクティビティを実際に3コマの授業を用意し体験していただきました。（10月より健康塾にてリニューアル定期開催いたします。）

10月【開催場所：西宮渡辺病院】

10月の講座は西宮渡辺病院 薬剤部長 力武隆浩による『薬剤師がこっそり教えるサプリメントあれこれ』でした。

近年、サプリメントは若者からお年寄りまで身近なものになってきました。健康に関心はあるものの、食事の制限、運動など、少し努力をしなければならぬことよりも、手軽に健康を手に入れたい人が増えています。テレビの通販番組やネット通販、ドラッグストアなどサプリメントは身近なものになっており、いろいろな問題も起きています。サプリメントも薬と同様に副作用やアレルギー、病院のお薬との飲み合わせなど気をつけなければいけない点があります。サプリメントを購入するときは、通院している方は主治医に、病院にかかれていない方は最寄りの薬局やドラッグストアの薬剤師にご相談ください。

西宮渡辺病院 HCU 病棟 ご紹介

当院のHCU(高度治療室)は8床(内1床は個室)で、救急車で運ばれたり手術を受けた後の患者様の受け入れを行っています。機器も多いため、初めて入室される方は驚きや不安を抱くこともあるかもしれません。

しかし看護師が常に患者様の傍にいるため、安心して治療を受けられる環境になっています。患者様・家族様からは声をかけづらい事があるかもしれませんが、様々な不安への配慮ができる心優しいスタッフが揃っており、明るくハツラツとした職場です。

(西宮渡辺病院 HCU 師長 木村佳代)



栄養相談を受けてみませんか？



西宮渡辺病院では栄養相談を行っております。ぜひ、栄養士と一緒に、食事について考えてみましょう。ご希望、興味のある方はお気軽に医師にご相談下さい。

■ 栄養相談日

月～金曜日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00
※相談時間は30分程度です。

■ 費用について

保険が適応されますが、各自己負担割合によって異なります。
1割負担：260円 3割負担：780円

■ お問い合わせ

西宮渡辺病院
TEL：0798-74-2630
FAX：0798-74-0199

法人関連施設

● 社会医療法人 渡邊高記念会 ● 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問看護介護わたなべ / グループホームむろかわ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーションむろかわ / 居宅介護センターむろかわ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション

● 社会福祉法人 高明会 ● シルバートピア西宮 / 訪問看護ステーションまえはま / 居宅介護支援センターはまかせ



わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

※ 当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

編集
広報委員会